

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 木 晋平
ソースコードID: S4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

UndoContext の実装なので内容はあてはまるけど、

片方 → 片方がほしいとは思えない。

Typeで区別する程度?

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

区別するので。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 木 晋平
ソースコードID: S2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

区別なので。でも、関連を何に使うかはキモい。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

テストケースで

区別する理由

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 木 晋平
ソースコードID: S1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

10.17-29%のみが異なってる。

ポインタソースの差を吸収の必要アリ。

pkg → util.

ただし、スニペット検査したら土場所は両方答えていい...

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 木 晋平
ソースコードID: S6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

まじらない。両方登録する必要がある。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

S4, S5 に同じ。

自分含め2x4.

S4, S5, S6 の中2つは15% (c) のみ。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 木下 晋平

ソースコードID: S5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

単純、しょうさい、両方あっていい。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

S4と同様。

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 木下 晋平

ソースコードID: S3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

・ 数値参照、マークアップ等

・ visibility

・ バグ修正? ふるまいが違う。navigator.kanjiが新か。

~~(b) 共通部品~~ ~~(c) 別個部品~~

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

バグfix? 集約可?

新しい断がつかない。

~~DI~~ DI

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 肥後 幸樹

ソースコードID: S6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

同じクラスを継承しているのでは。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 肥後 幸樹

ソースコードID: S2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

- テストケース
- 両方の子に継承されている。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 肥後 芳樹
ソースコードID: S4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: _____ (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 肥後 芳樹
ソースコードID: S5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

(d) でないことも
関連していることもないから...

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 肥後 孝樹
ソースコードID: S1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

内容はまったく同じ。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 肥後 孝樹
ソースコードID: S3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

右側のコードはラポート?

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

左側のコードはラポート?

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福安
ソースコードID: S1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

インデント等異なるが、Y-人は package である。
自体

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

Package に意味はない。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福安
ソースコードID: S6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

もしもこの図が異なる場合、

相互に関連については、どちらも XEvent を継承しているという
事実だけでも十分?

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

S4, S5 に同じ

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福安
ソースコードID: S2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

~~パースエラー~~

Input と Output で目的を達する。(パースエラー)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 福安
ソースコードID: S5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

LibraryFilter と関係して実装する必要があると思うが、
別な機能と実現した関連のあるもの

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

S4 に同じ

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 福井

ソースコードID: 84 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

Undo Context と Global Undo Context と連続に複数作成
たが、それと区別が必要。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

連続に複数作成 関連部品として提示する

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 福井

ソースコードID: 83 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

一部重複する。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 山本

ソースコードID: 52 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

どちらに登録してもあんまり
学術的トランスバ-

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 山本

ソースコードID: 56 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

別 (c) 1つに7つ XEvent
extends 1274 273 373
で自然に274 (c)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: hkf
ソースコードID: S4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

S6の判定理由と同じ

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: hkf
ソースコードID: S5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

S6の判定理由と同じ

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 山本
ソースコードID: 51 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

indentの書き
おまけ2744の書き
コメント

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 山本
ソースコードID: 57 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

~~450/13もおまけ部品~~
450/13もおまけ部品
2744の書き

書き直し・bug fix?
450/13もおまけ部品の機能の書き

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☒ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

(b)と(c)の書きは難しい